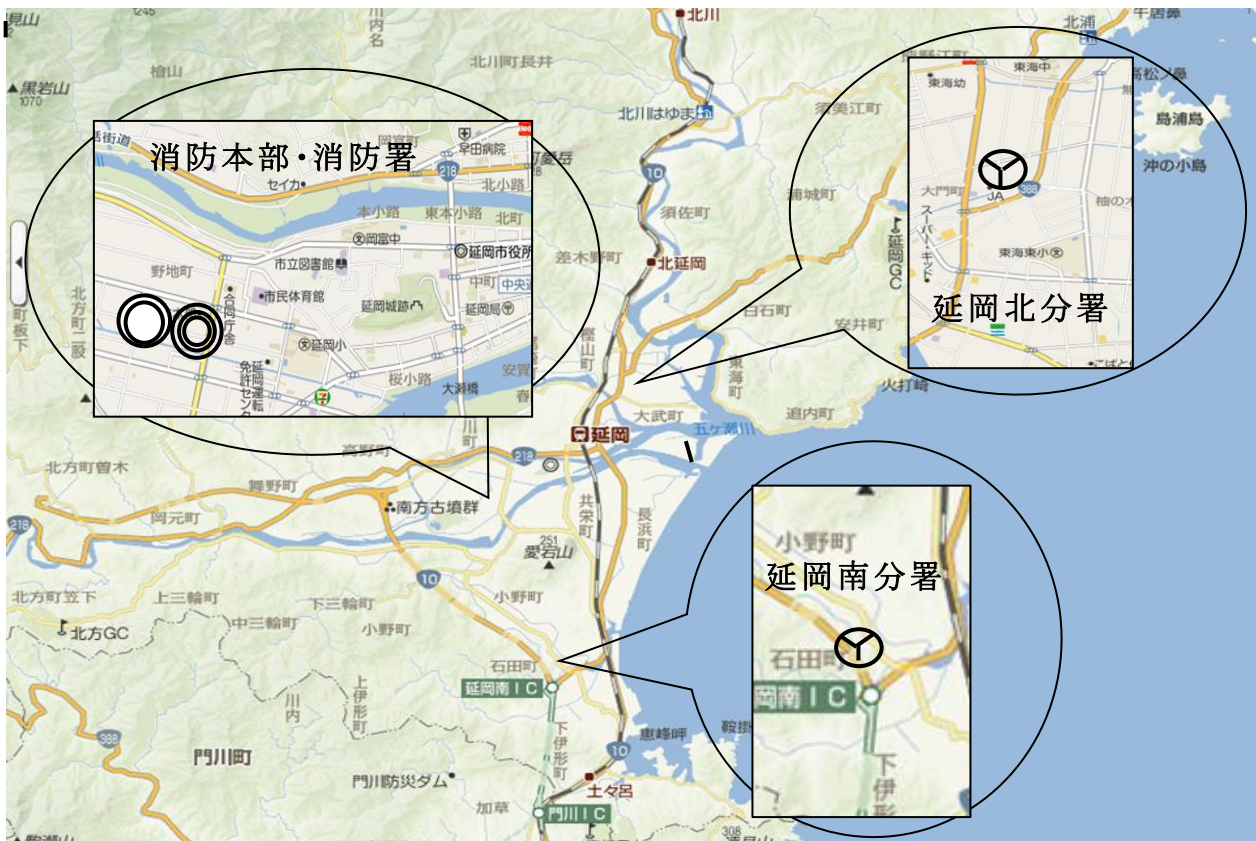


高機能消防指令システム（AVM等）中間更新に関する 更新の目的、意見募集対象

高機能消防指令システムのうち、保守耐用年数を超過する機器（主に車両運用管理装置（以下「AVM」という。））を更新します。

高機能消防指令システムは、24時間・365日稼働しており、119番通報の受付から災害等の出動指令、緊急車両の運用管理を行うとともに、緊急車両との無線通信等を一括して取り扱う機能を有する、消防本部の災害対応についての中枢を司るシステムであり、令和4年には、11,005件の119番通報を受付け、その内火災55件、救急6,702件、救助77件に消防車や救急車を出動させるとともに、各車両の運用管理をしています。

消防本部は、市民の生命、身体及び財産を守るための活動に支障を来たすことがないように、高機能消防指令システムのうち、保守耐用年数を超過する機器を更新します。



今回の高機能消防指令システムの一部更新対象機器等は以下の1～3のとおりです。

1. 車両運用管理装置

消防・救急各車両には車両運用管理装置の端末装置を搭載しており、通信指令課から現場の地図情報を送ることができます。また、通信指令課による、各車両の動態管理も可能となります。

消防車両が消防・救急の災害情報を受信すると、ディスプレイ上に災害点住所や災害現場付近の消火栓や防火水槽等（以下「水利」という。）の状況や交通制限などの情報も加味された最短ルートが表示され、現場到着までの時間を短縮しているものです。

画面上に表示する情報は、自車位置、他車位置、指令内容、災害点、水利位置・危険物位置、道路障害・水利障害、指令情報検索、病院検索、目標物検索となります。

A V Mは前回の配備から令和6年度で9年（保守耐用年数は9年。）経過することと、使用している回線がN T TドコモのF O M A回線であり、この回線が令和8年3月31日に終了することから、L T E化するために更新するものです。

※FOMAは携帯電話の第3世代の通信規格で、LTEは第4世代の通信規格となります。

車両運用管理装置（A V M）車両用端末



2. 指令映像設備

消防本部通信指令課前面に、多目的表示盤（70インチ）、車両運用表示盤、支援情報表示盤を配備しており、車両の運用状況や地図情報等を表示しています。

多目的表示盤（70インチ）



通信指令課前面中央に配置しており、多目的表示盤で地図等を表示

車両情報表示盤



通信指令課前面右側に配置しており、全ての緊急車両を待機や出動中などの状況に応じてランプの色で表示しており、通信指令課員が一目で確認できるようになっています。

支援情報表示盤



通信指令課前面左側に配置しており、119番通報地区名、着信電話会社、気象情報、災害件数等が表示されます。

3. 延岡市消防水利地図

延岡市消防水利地図は、延岡市の住宅、道路、山林、河川等が表示された地図で、これに、延岡市の消防水利の位置を表示した地図になります。

消防・救急活動時、通信障害等でAVMが使用できなくなった場合、また、本市で大規模な災害が発生した場合、緊急消防援助隊として応援に駆け付けた他県の消防隊に現場や水利の位置を示すために必要となることから、現在の高機能消防指令システム内の地図及び消防水利情報と、延岡市消防水利地図を一致させ、消防活動に支障がないよう更新します。

4. 事業費 139,878千円（令和6年度～令和13年度）

○令和6年度

24,560千円（機器システム改修委託）

○令和7年度から令和13年度（7年間のリース）

115,318千円（16,474千円×7年）